

## 1 3. 輸血製剤廃棄率

### 算式

【分子】 廃棄赤血球製剤単位数

【分母】 使用輸血赤血球製剤単位数 + 廃棄赤血球製剤単位数

### 定義

輸血用血液・血液製剤のうち廃棄された血液・血液製剤の割合

### 指標の解説

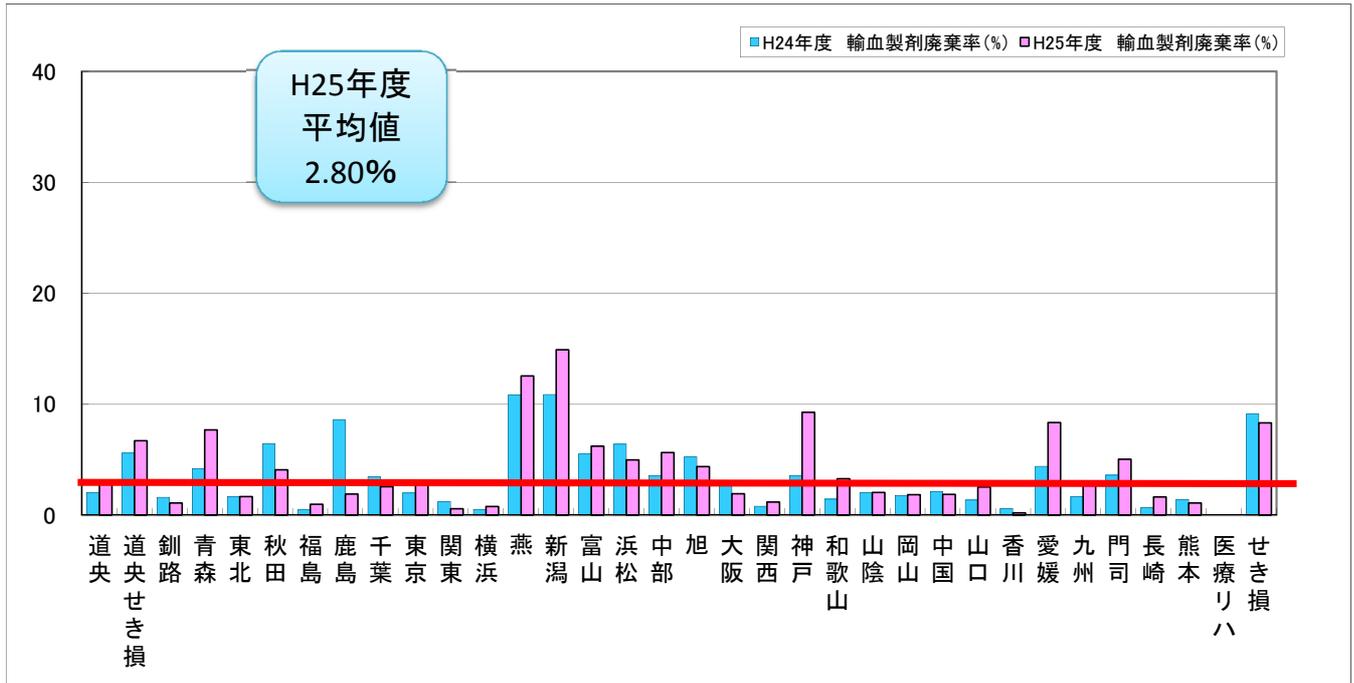
施設調査より抽出

医療資源の有効活用に関して、輸血用血液の適切な管理・使用状況について輸血製剤の廃棄状況から評価する。

廃棄率が低い場合には、輸血製剤が適切に管理・使用されていると評価できる。

(注) 当該指標については、病院と血液センター間の距離が影響しており、都市部（輸血センターから近距離）と地方（輸血センターから遠距離）の病院で大きく差が出る傾向にあります。  
また、地方の病院においては、不測の事態に備えて血液製剤をストックしておく必要があるため、結果として廃棄率が高くなる傾向にあります。

### 1.3. 輸血製剤廃棄率



No	施設名	H24年度			H25年度		
		分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)	分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)
1	道央	1,663	34	2.04	1,382	42	3.04
2	道央せき損	448	25	5.58	447	30	6.71
3	釧路	2,689	44	1.64	2,546	28	1.10
4	青森	2,105	88	4.18	2,106	162	7.69
5	東北	1,903	32	1.68	1,890	32	1.69
6	秋田	871	56	6.43	905	37	4.09
7	福島	1,857	9	0.48	2,015	20	0.99
8	鹿島	792	68	8.59	210	4	1.90
9	千葉	3,482	121	3.48	3,849	99	2.57
10	東京	2,299	46	2.00	2,039	58	2.84
11	関東	4,738	58	1.22	5,226	30	0.57
12	横浜	5,257	28	0.53	6,099	48	0.79
13	燕	1,532	166	10.84	1,353	170	12.56
14	新潟	1,570	171	10.89	1,396	208	14.90
15	富山	1,365	75	5.49	1,414	88	6.22
16	浜松	2,652	170	6.41	1,926	96	4.98
17	中部	3,176	114	3.59	2,754	156	5.66
18	旭	1,276	67	5.25	1,344	59	4.39
19	大阪	6,907	187	2.71	6,122	118	1.93
20	関西	6,853	56	0.82	7,151	85	1.19
21	神戸	2,203	79	3.59	1,099	102	9.28
22	和歌山	2,605	38	1.46	2,586	85	3.29
23	山陰	4,329	88	2.03	4,275	88	2.06
24	岡山	2,656	48	1.81	2,698	50	1.85
25	中国	1,774	38	2.14	2,227	42	1.89
26	山口	2,494	34	1.36	2,134	54	2.53
27	香川	3,416	20	0.59	4,680	10	0.21
28	愛媛	1,130	50	4.42	1,434	120	8.37
29	九州	3,123	52	1.67	3,693	99	2.68
30	門司	1,332	48	3.60	1,230	62	5.04
31	長崎	2,655	18	0.68	2,317	38	1.64
32	熊本	4,134	59	1.43	4,055	45	1.11
33	医療リハ	90	0	0.00	32	0	0.00
34	せき損	22	2	9.09	96	8	8.33
合計		85,398	2,189	2.56	84,730	2,373	2.80
平均	500床以上	4,806	79	1.65	4,874	78	1.60
	400床以上	2,917	60	2.06	3,207	47	1.47
	300床以上	2,364	74	3.14	2,182	93	4.26
	200床以上	1,152	55	4.79	1,228	70	5.66
	200床未満	338	24	7.03	196	11	5.35